



応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

令和 8 年 1 月 1 日 発行

あい風通信

67号

(学びのスタンプ通算 74 号)

挑戦の年！



明けましておめでとうございます。今年もどうかよろしくお願い申し上げます。さて市民カレッジは、開校 18 年目となります令和 8 年を挑戦の年としたいと考えております。その一歩として、講座企画については昨年、運営委員全員で取り組む体制を整えました。皆様に興味をもって学び続けていただくために、さらにチャレンジを重ねてまいります。カレッジ生みなさまには大いに受講していただき講座提案など積極的な関りをぜひお願い致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年度最後の主催講座です

主催講座 13 「遺跡を通して知る石狩のむかし」

第 1 回 「石狩の縄文文化；はじまりから続縄文文化へ」

日時 2 月 25 日(水) 13:30~15:00

第 2 回 「石狩の続縄文・擦文文化；弥生～平安期ころ」

日時 3 月 4 日(水) 13:30~15:00

講師 荒山 千恵 いしかり砂丘の風資料館学芸員

会場 石狩市花川北コミュニティセンター



土器(若生 C 遺跡)



勾玉(志美 4 遺跡)

※画像は、いしかり砂丘の風資料館提供

◇石狩市の遺跡について総括的な講座として開催します。これまで石狩市内で発掘調査された遺跡を中心に、この地域に人々が暮らし始めてからの歴史・文化をひもとくとともに、他の地域との関わりや、近年の新たな研究成果にも触れていきます。

☆☆☆令和 8 年度もバラエティーに富んだ魅力ある講座にご期待を ☆☆☆

このほど来年度の講座概要がまとまりました。カレッジ生・スタッフからの数多くの提案から選りすぐった主催講座 14 回。そして講師として応募のあったまちの先生企画講座 5 回です。とくに主催講座については、従来にも増して幅広いジャンルからバラエティーに富んだ魅力あふれる講座を企画しました。講師陣も錚々たる方々で多くの皆様楽しんでいただけるものと期待しています。

《令和 8 年度主催講座》

《令和 8 年度まちの先生企画講座》

コース	ジャンル	講座名(仮題)
いしかり学	歴史・文化	石狩歴史散歩
	自然	マクンバツ湿原のミズバショウ
	公共	石狩市の交通インフラの現状と将来
教養・文化	歴史	初めから学び直す「北海道の歴史」
	歴史・人物	平和主義・立憲主義を貫いた政治家を学ぶ
	医療・健康	當瀬教授のお茶の間健康談義
	産業	スマート農業および農畜産物の安定供給
	経済	国際情勢と日本経済の現状と将来
	科学・技術	半導体とは、どういうものか？
	環境	北海道の気候変動に備える「夏編」・「冬編」
	音楽	今野博之と音楽を楽しもう
	地域	町村探訪シリーズ① 余市町
スキルアップ	スキル	報道写真の現場、ポーズ写真の撮り方
地域企業	産業	新港地域企業見学

講座名(仮題)
南国の音楽で楽しくエクササイズ！
何ら始めればよい？はじめての生前整理
郷土料理を作ろう
赤レンガ庁舎を点描する
筆ペンで味のある文字を描こう！

市民カレッジデータ

(12 月 15 日現在)

○登録者 ~121 人

○連携団体 ~104 団体



ロゴ制作者は
丸山英里子さん

いしかり市民カレッジを
応援しています

この人に聴く

いしかり市民カレッジ 初代学長

田岡 克介さん



未永い活動を期待しています!!

◆ いしかり市民カレッジについて初代学長として思ったことは？

1999 年私が市長に初当選した際、公約の一つであった市民参加条例を 2001 年に制定し、行政活動への市民参加を制度化しました。2008 年には自治基本条例を策定し、市民と行政が対等に地域課題を解決する仕組みを構築。石狩市は市民参加型自治の先進都市となり、2009 年それらの理念が結実した「いしかり市民カレッジ」が誕生。その初代学長を私が担い、とても誇らしく思ったことを覚えています。

◆ いしかり市民カレッジの特長や良いと思われる点は何でしょうか？

通常、行政が実施するような講座を市民主体で運営されていることには頭が下がります。地域課題や歴史・石狩湾新港が舞台の産業をテーマにした講座は、「ふるさと石狩」への愛着を育み、持続可能なまちづくりを市民が進めていると言ってもいいでしょう。また、「学びの記録」手帳にスタンプを押すことや修了証授与も参加意欲を高めていると思います。

◆ いしかり市民カレッジがもっと良くなるためには何が必要でしょうか？

とにかくいしかり市民カレッジには、今後も未永く活動していただきたい。そのためには、仕組みと後継者の育成という両面により持続可能性を確保することが重要です。若い世代や子育て世代が受講または講座の企画・運営に関わるような柔軟な仕組みを構築できればよいのではないのでしょうか。

◆ 石狩市における生涯学習について思うところは？

現在、石狩叢書第4巻の発刊に向け編集委員長として活動しています。原稿の執筆にあたり、新たな発見や忘れかけていた昔の石狩のことを思い出すこともあり充実しています。

また、郷土研究会の会員としても活動を続けています。会員はみな学ぶ意欲にあふれており、私も他の会員と顔を合わせ、たくさんのお話を聞くことが日々の刺激になっています。

石狩市は生涯学習活動が盛んで、地域文化としても定着していると感じています。

◆ 石狩湾新港の講座でお世話になりましたが、新港について期待されることは？

新港における発電・情報・運輸・機械・食品製造・物流倉庫・冷凍庫・リサイクル等の産業活動は、僅か 50 年にして 700 社が稼働、約 2 万人以上の雇用を生み出しています。さらに地方創生戦略の展開により、人口減少傾向下においても市民生活の基盤を持続的に確保するとともに、発展を支える極めて大きな要素となるでしょう。

「環境」目標 Scope 1+2 のGHG排出量 21 年比 45%削減をめざす先進都市としての緒に就いたばかりですが、官民共創モデルの石狩パターンは地方自治体としてのイノベーションであり、新しい石狩市の価値を創出するものと信じています。

◆ いしかり市民カレッジへのメッセージをお願いします

格好つけて覚えてた ChatGPT に「いのち」とは何か聞いてみました。長くて難解な答えの中から刺さったフレーズ『それは単に「生物が生きている状態」ではなく「生きることの意味」「生かされているという感覚」「人と自然・他者をつなぐもの」まで含んでいます。』

これって市民カレッジのイメージではありませんか。借り物ですみませんが AI に感心しつつ、皆様の「いしかり愛」を感じています。

ボランティアスタッフ募集説明会を開催しました



今年度2回目のスタッフ募集説明会を 11 月 8 日(土)の 13:30 から石狩市民図書館研修室 1 で行いました。1 名の女性の方にご参加いただきました。委員長挨拶の後、石井委員から市民カレッジについて開校に至る道のり、特長、組織や運営、ボランティアスタッフとして行う活動などを説明しました。その後、参加者の方といろいろ話し合った結果、幸いにサポーターとしてカレッジに運営参加いただけることになりました。

受講者の声

講座終了時に受講者の皆様からいただいたご意見・ご感想の一部を要約して紹介しています。

主催講座 11 「石狩湾新港 30 年の歩みと今後の遠望」

「工業団地の全体がガイド付きで見学できたのはとてもよかった。パールのライスの映像説明で安全製品の工程が見られたのはよかった。エースの先端技術にも感動しました。とても良い講座でした」「久しぶりの新港の施設など見学、石狩市の今後の発展に期待ができました」「新港に700以上の企業があるとは知りませんでした。ほかの企業・工場など機会があればまた参加したいと思いました」「現地で学べるのが大変良かった。また、様々な現地学習を企画してほしいです」



主催講座 12 「AI って何だろう？どう役に立つの？」

「AI は難しいと思っていましたが、少しだけ理解が進みました。大変良かったです」「AI とはどのようなものか、正確な理解には至らなかったが、AI による物語の作成を通じて何となくわかったような気になりました」「市役所での AI の必要性和使われている実情がよく分かった。実演も大変面白かった。非常に分かりやすい話だった」「AI って、使い方がわかるととても便利な物である事がわかりました。使うのが人間ですので勉強も必要ですね」「未来への AI の恐怖を感じた」



まちの先生企画講座5 「石狩の花・木・鳥」

「ハマナスの生態がこんなに変化すること、知りませんでした。これからの見学では小鳥や虫たちも大いに楽しみです。少しは注意しながら行動します」「カシワ林と希少な生き物の関係等貴重な学習をさせていただきました。大切な石狩の自然林を守る活動が続きますよう祈ります」「カモメにこんなに種類があるとは驚いています」「図鑑では味わえない多くの動画がすばらしかったです」



修了証授与式 3月上旬

学びのあかしを受証しましょう！

令和7年度の修了証授与式を令和8年3月上旬に行います。授与式終了後会場を移し市長・教育長を交えて懇談会を行う予定です。昨年復活した懇談会では、受証者と関係者が学ぶ楽しさを語り合う貴重な時間となりました。カレッジ生の皆さん、学びの記録を再確認し申請書の提出をお願いします。

活躍中

藤女子大&いしかり市民カレッジ『FWU-ICC プロジェクトⅡ』

10月12日藤花祭の会場にスタッフ8人で訪問し、FWU-ICC プロジェクトⅡのコーナーを見学し、4人のプロジェクトメンバーと交流しました。2代目メンバーとはスタッフとの交流を通じ理解を深め、石狩市民カレッジのSNSを通じて応援していただいています。今後、藤女子大生を講師とした発表会も予定しており、若い力に期待しています！



～ふえる知識と仲間の輪～カレッジ生になって人生に潤いを！

◆令和8年度新規カレッジ生を募集しています

- ・多彩なメニューから好きな講座を、いつでも、誰でも、どこからでも受講できます
- ・講座数：主催講座、まちの先生企画講座（令和8年度講座数：19講座43回を予定）
- ・座学講義は勿論、現地での見学学習も好評
- ・学びたい、活動したい、と思った時がチャンス

◆入学するには、そしてメリットは？

- ・年度会費：1,000円（4月～3月まで）
- ・受講料：500円（一般700円）
- ＊今なら、2月3月の講座も500円でOK
- ・「学びの記録」手帳にスタンプ押印
- ・修了証授与：規定のポイントに達する毎に
- ・情報提供：あい風通信・HP・ポスター他

ボランティアスタッフ、サポーターも募集しています！

お申込みは 運営委員会事務局(社会教育課)へ

ひろば

ISHIKARI
CITIZEN'S
COLLEGE

チョコっと
いしかり学

《34》

花川のおいたち

はなかわのおいたち

石狩ファイル 0011-01 (2004/7/1)
発行 石狩市教育委員会

石狩市民の約 8 割が居住している花川地区は、南地区が民間の宅地開発業者により昭和 40（1965）年 9 月から分譲が開始され、「新札幌団地」と呼ばれていました。北地区は北海道住宅供給公社が昭和 48（1973）年 3 月から分譲を開始、「花畔団地」と呼ばれていました。特に北地区は分譲条件により短期間に家が建てられ、街並みが一気にできあがりました。昭和 51（1976）年には、両方の住宅団地を合わせ「花川」と命名されました。それまでの石狩市の人口は、9,000 人ほどの停滞状態が続き、農業にたずさわる人たちが主体でした。この両団地の開発によって人口が急増し、石狩湾新港開発とともに、のちの市制施行の大きな要因となっているのです。

この地区の土地利用の歴史をみると、明治 26（1893）年に道庁が樽川・花畔の原野を殖民区画し、移民開拓者を入植させました。明治 30（1897）年「北海道国有未開地処分法」の発布にともない大規模に土地が払い下げられ、原始林におおわれた原野の開墾は急速に進みました。

明治 32（1899）年、町村金弥は現在の花川南 3 条 2 目に町村農場を開設しました。長男の敬貴は 10 年間アメリカで牧場経営を学び、大正 6（1917）年、樽川に牧場を開きました。（写真 1）樽川・花畔一帯は大規模農場が点在し、北海道の一大酪農先進地に生まれ変わりました。

（昭和 3 年、町村牧場は江別に移転、現在も牧場を経営中です。）

昭和になってからの土地利用は水田でした。海浜砂地造田は水を貯える上で難問でしたが、農家は試行錯誤の末、砂地の稲作技術を身につけました。太平洋戦争後の食料難時代、特に主食の米が全国的に不足していました。昭和 23（1948）年、この地域で全道初の大型水田化（写真 2）による米の増産を行い、良質米生産地の名声を全道に広めました。

しかし、昭和 40 年代に入り日本が高度経済成長期を迎え、札幌市の人口集中は目ざましいものでした。時代の要請にこたえてきたこの水田地帯も、札幌圏内の閑静な一戸建て低層住宅地（写真 3）へと役割を変え、現在に至っているのです。（神林 勲）



写真 1 「町村牧場発祥の地」南線神社



写真 2 「開田の碑」南線神社



写真 3 「南線地区開発記念碑」紅葉山公園

【参考文献】

- ・石狩町（1985）石狩町誌／中 1. 石狩町. ・石狩町（1991）石狩町誌／中 2. 石狩町. ・石狩市（1997）石狩町誌／下. 石狩市.
- ・石狩市（2001）石狩市市勢要覧. 石狩市. ・いしかり暦編集委員会（1980）いしかり暦 1 号. 石狩町郷土研究会.
- ・いしかり暦編集委員会（1982）いしかり暦 3 号. 石狩町郷土研究会. ・いしかり暦編集委員会（1984）いしかり暦 4 号. 石狩町郷土研究会.

編集後記

次号からこのページには別企画記事を掲載します、お楽しみに！

「ひろば」の頁では、2022 年 10 月発行 54 号（「石狩の地形」）から、2026 年 1 月発行 67 号（「花川のおいたち」）まで 14 回にわたり石狩市教育委員会発行の「石狩ファイル」をご紹介してきましたが、2026 年 4 月号から新たな企画として、ホームページに保存されている過去の講座記事をご紹介していきます。いしかり市民カレッジのホームページには、過去 17 年間の講座紹介記事が残されています。言わば眠れるお宝ですが、それを一緒に掘り起こしていきましょう。思いがけない気づきがきっとあるはずです。楽しみにお待ちください。（Z・I）

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当：鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課（石狩市民図書館内）
石狩市花川北 7 条 1 丁目 26 TEL & FAX: 0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)